

第3号

人推協だより

みどりがおか

福山市春日町5-16-3

☎ 084-943-5495

✉ midorigaoka-krk

@city.fukuyama.hiroshima.jp

発行 緑丘交流館



町内会別「地域づくり座談会」を開催しました

10月4日から11月1日の間、19町内会15会場において地域づくり座談会を開催しました。

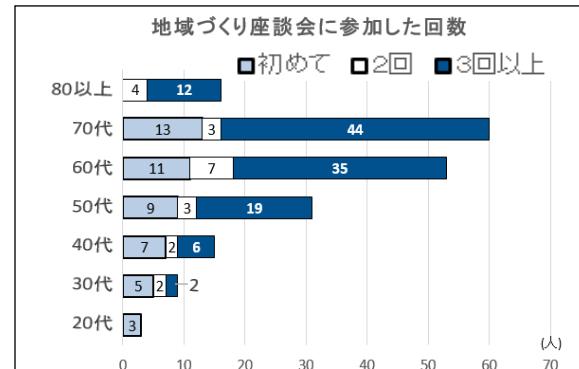
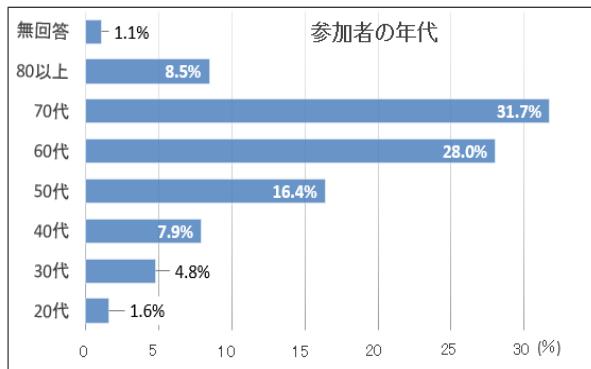
DVD「地震発生、いのちを守る10か条」により、地震からどう身を守るのか、発生時の心構え、行動について学習しました。みなさまから、日頃の地震対策、体験談、一人暮らし高齢者への対応をはじめ、地域の課題など、率直なご意見ご感想を多くいただきました。

私たち一人ひとりの気づきや行動、日頃の交流が、いざというときの支え合いにつながっていくということを改めて感じました。

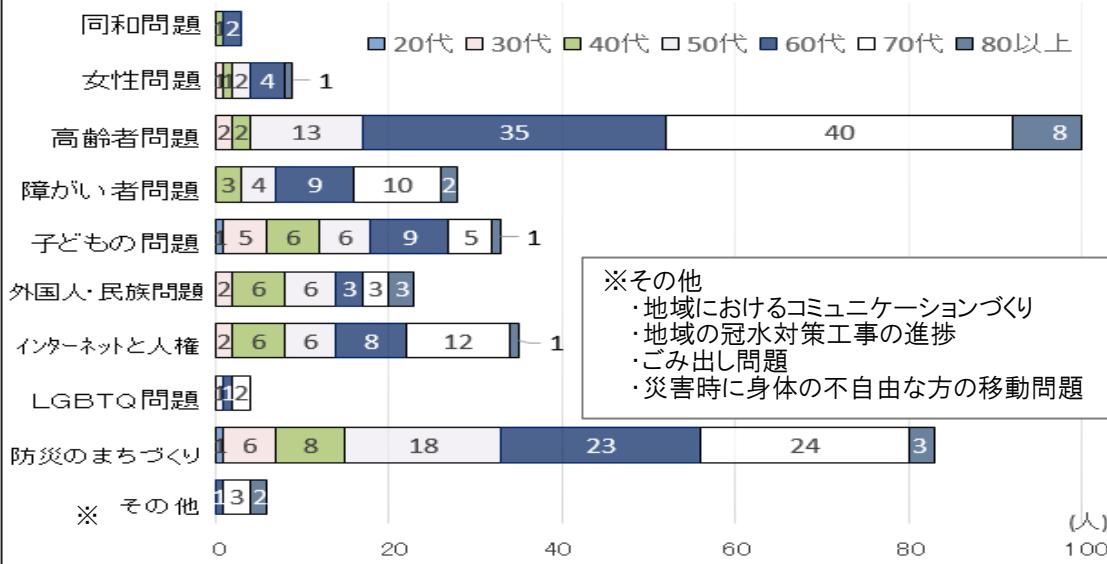
参加されたみなさまには、ご理解ご協力をいただきありがとうございました。

これからも、誰にとっても過ごしやすい地域づくりの実現に向け、私たちができるることを、みなさまと一緒に考えていきたいと思います。

緑丘学区人権学習推進協議会 会長 坂 本 三 男



どんなことに関心がありますか？



地域づくり座談会へのご意見とご感想（アンケートより一部抜粋）



DVDを見て

アンケートにご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

- 頭を守る際は、手首を内側に座布団を持ったり、トイレの中で揺れたときには、スリッパをドアに挟んで逃げ口を確保するなど、少しの工夫を知ることができ勉強になった。
- いざというときに、落ち着いての判断が難しいと思うので、このような災害について、考える時間がとても大切だと感じました。起こるかもしれないと身近に考え、家族でも対策を話したいと思った。
- 家族を守ることも大切ですが、近所に1人で住む高齢の方もいらっしゃるので、助けられるように心がけていきたい。
- 災害の少ない地域で、住民の意識も、自分を含めて低いと思う。啓発活動はあっても、関心が低い。町内会のなかで、もう少し災害について考えてもよいのではないか。
- 「災害用伝言ダイヤル171」や「災害用伝言板web171」が、毎月1日・15日、お正月などに体験できると知れてよかったです。簡易トイレの準備は早速しなければ！
- 防災は、普段からの地域のつきあいが大切だと思いました。地域づくり、地域をよく知ることで、防災につなげていきたいと思いました。
- 災害時の地域の人の協力についてどうするかを今後考えていきたい。災害時のトイレをどうするかについて、いろいろな意見が出て参考になった。
- 各町内会でも、防災訓練を行ってみる必要があるのではないかでしょうか。



地域づくり座談会に参加して

- 活発な意見交換でした。テーマが話しやすかったのかなと思いました。
- 新しい取組でよかったです。



〈地震発生、いのちを守る10か条〉

- ①家で地震！まず、自分の身の安全
- ②すばやく火の始末、初期消火
- ③戸を開けて出口を確保
- ④あわてた行動、けがのもと
- ⑤街では危険な場所から離れる
- ⑥山崩れ、崖崩れ、津波に注意
- ⑦火災発生、確かな避難
- ⑧確かめ合おう、家族の安否
- ⑨協力しあって救出・救護
- ⑩災害時の情報に注意

市民のみなさんの声から「無意識の思い込み発見かるた」がつくられました！

(例)



▶「無意識の思い込み」とは…過去の経験や知識などによって、情報を素早く処理し、脳の負担を軽減するために備わっている機能ですが、時として、誰かを傷つけたり自分の可能性を狭めることができます。

かるたを通して、「無意識の思い込み」をこどもから年配の方まで、楽しく学べる教材です。

一人ひとりの気づきが、一人ひとりが大切にされる社会の実現につながっていきます。



人は、日常生活において、危険が迫っていても「自分は大丈夫だろう」と過小評価する傾向があります。

「自分だけは大丈夫」、そう思ったことはありませんか？

根拠のないわざにより生まれた誤解が、偏見や差別を助長させることができます。

うわさだけを信じることは、自分の考えを支持する情報のみ重視したり、多数派を正しいと信じる「無意識の思い込み」の一つです。うわさ話で、私たちが気を付けるべきことは何でしょうか？

地域へ貸出できます。